



for Yoshino's future

吉野の未来のために

庁舎整備の検討 白紙へ

3月7日 庁舎整備について町長記者会見要旨

現役場庁舎は、昭和34年に建設され、老朽化が進んでいること、また駐車場の狭さ等により、防災拠点としての機能不足などの課題を抱えています。これを踏まえ、町民の命を守るため、安全性を最優先に、旧吉野北小学校を新庁舎とすることを提案し、議会等での説明を行ってきたところです。しかしながら、令和5年2月15日、旧吉野北小学校は不慣れた場所にあり、より利便性が重要であることから、同校跡地に庁舎を建築しないことを請求する旨の請願書が、4人の紹介議員の署名と合わせ、議会に提出されました。



町中央公民館で記者会見を行う中井町長



▲記者会見の動画は
こちらから

町としては、「庁舎の場所」という一点のみを持って町民を二分することは望んでおらず、不安を感じられている町民の皆様の不安を払拭するため、庁舎整備については一旦白紙とさせていただきました。一方で、庁舎を取り巻く状況は変わっておりません。庁舎の場所のみならず、町民の命を守るという観点や、庁舎の位置に関わらず行政サービスを提供できる環境を構築するという観点について、早急に対策を講じた上で、引き続き、庁舎整備について議論を尽くしたいと考えております。



for Yoshino's future

吉野の未来のために

吉高生 最後のプレゼント

くにすの杜にベンチを寄贈



国栖地区自治協議会のメンバー(左)と
吉野高校森林科学科の生徒(右)で記念写真

2月21日、くにすの杜に吉野高校森林科学科の生徒が製作したベンチと丸太椅子が寄贈されました。この取組みは、昨年に引き続き「木で人と人をつなぐ」をコンセプトに吉野の木材製品を広めようと森林科学科の3年生2名が「KINONOWAプロジェクト」の一環として実施されたものです。吉野高校は2023年3月31日で閉校したため、吉野高校森林科学科として最後の生徒の取組みとなりました。生徒からは「私たちが製作したベンチが、この場所を訪れる皆さんに使ってもらえたらうれしいです。」と話していました。





CONGRATULATIONS

吉野町の人☆キラリ

文科大臣優秀教職員表彰

車谷教諭(吉野中) 道德教育の推進

吉野さくら学園吉野中学校の車谷泰典教諭(36歳・数学科)が、文部科学大臣から優秀教職員(令和4年度)として表彰されました。車谷教諭は平成28年から奈良県道德教育研究会に所属し、教育実践分野『全教員で取り組む道德教育の推進』での活動・研究が高い評価を受けました。吉野中学校へは平成31年4月に着任し、同研究会で吸収した道德教育の指導にかかる理論や技術を生かし、学習の状況に応じた数々の教材を教員へ提供したり、授業の構成



◀右から土居正明教育長、車谷泰典教諭、吉野さくら学園吉中久美校長

等について積極的に伝授したりするなどして、担当学年を越えて学校全体で道德教育を進めてきました。また、これまで担任教員が担ってきた道德の授業を、学年担当全員が輪番で行うことにより、教員と生徒の信頼関係が深まり、生徒の自尊感情の高まりにもつながりました。道德の授業を参観した保護者からは、「学校全体で子どもたちを育ててくれている」という感想が聞かれ、生徒・教員・保護者といった全体的な連帯感の構築にもつながっています。



Environmental Conservation

地域の環境を学ぶ

吉野で水族館!?

3月9日~3月12日 吉野川で生息の魚展示

町内では津風呂湖で釣ることのできるワカサギ▶



◀三奇楼の蔵では大小様々な水槽で淡水魚を展示



三奇楼のデッキではエビなどの小さな生き物をすくって観察

町内で活動するまちづくり団体「上市まちづくりの会リターンズ」主催で、「吉野で暮らす名脇役水族館」が三奇楼(上市)にて開催されました。同団体代表の南達氏が八女市で出会った元飼育員の方との縁から、今回津風呂湖漁協など町内各団体の協力や奈良県、吉野町、町教育委員会の後援を受け実現したものです。期間中、吉野川等に生息する魚の展示や生き物に触れるワークショップなどが開催され、最終日には同会場にて、よしのっ子食堂(こども食堂)も実施となり、多くの子どもたちが会場を訪れました。